

## グレード・ポイント・アベレージ（GPA）制度と成績評価について

### ① GPAとは

日本大学では、厳格な成績評価、綿密な履修指導による卒業生の質の保証などを目的として、GPA(Grade Point Average)制度を導入しています。GPAとは、「成績評価基準」に従い、授業ごとの成績評価にそれぞれ定められた係数(Grade Point)を付与して、1単位当たりの平均値(Grade Point Average)を算出する成績評価方法です。

GPAは、評価された成績とその科目の単位数が関係づけられて算出されるので、単位制の概念に照らして考えても、履修する授業科目によって求められている“学修の重み”が異なっていることが分かります。

国際的に通用性があるとされるGPAは、海外留学などの際に大学での学びを示す指標となることもあります。

### ② 成績評価基準

	素 点	評価	係数	内 容	G P A
判 定	100～90点	S	4	特に優れた成績を示したもの	対 象
	89～80点	A	3	優れた成績を示したもの	
	79～70点	B	2	妥当と認められたもの	
	69～60点	C	1	合格と認められるための成績を示したもの	
不 合 格	59点以下	D	0	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの	
無 判 定	—	E	0	履修登録をしたが成績を示さなかったもの	対 象 外
	—	P	—	履修登録後、所定の履修中止手続きを取ったもの	
	—	N	—	留学や編入学により、修得単位として認定になったもの	

### ③ GPA計算について

$$(4 \times S \text{の修得単位数}) + (3 \times A \text{の修得単位数}) + (2 \times B \text{の修得単位数}) + (1 \times C \text{の修得単位数})$$

$$\text{総履修単位数}(S+A+B+C+D+E)$$

GPAは、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを有効とします。

学科の課程修了に係る全ての授業科目(ゼミナール、他学科・他学部開講履修科目を含む)が対象となります。ただし、次の科目は対象となりません。

### 【対象外科目】

- 1) 履修中止手続きをした科目「P」
- 2) 認定科目「N」
- 3) 他学科・他学部開講履修科目(獣医保健看護学科及び獣医学科のみ)
- 4) 教職課程(教職に関する科目)及び学芸員課程等の授業科目  
(ただし学科の課程修了に必要な授業科目として取り扱っている授業科目は対象となる)

### ④ 算出方法についてのルール

- 1) GPAは、それぞれ以下のように算出します。
  - ・「学期のGPA」(各学期〔前期・後期〕に算出)
  - ・「年間のGPA」(年度ごとで算出)
  - ・「累積のGPA」(入学時からの累積で算出)
- 2) 履修登録していない科目は、受講しても単位は修得できません。
- 3) 授業科目を再履修した場合、「累積のGPA」算出の際には再履修して得た成績が算入され、以前の成績及び単位数は算入されません。(上書きされる)
- 4) 評価「D」または評価「E」となった科目を再履修しない場合は、GPA算出の際、総履修単位数として分母にそのまま残るので、注意が必要です。
- 5) 履修の中止手続きをした科目は、GPA算出の対象となりません。  
なお、履修中止手続きをせず、その後受講していないなど成績評価を行うことができない場合は評価「E」とされ、GPAの係数「0」として算入されます。  
履修中止をする場合には、必ず所定期間にWeb上で『履修の中止』手続をする必要があります。
- 6) 定期試験等において不正行為を行った場合は、処分を受けた条件に基づき、評価「E」・係数「0」として取り扱われます。

### ⑤ 成績証明書などへの記載について

「成績証明書」には、「累積のGPA」のみ記載されます。  
また、合格した科目的成績(S・A・B・C)及び認定科目(N)のみが表示されます。  
従って、不合格科目(D)や履修登録をしたが成績を示さなかった科目(E)および履修中止手続きをした科目(P)については、表示されません。  
※「単位履修票」(成績修得状況を表示した一覧表)には、学期、年間及び累積のGPAが記載されます(E・Pを含む)。